

脱炭素に一番近い島 屋久島CO2フリーの島づくり

豊富な森林資源に恵まれた屋久島で、
CO2の発生量が実質ゼロとなる先進的な地域づくりに取り組んでいます。

世界自然遺産の森林を有する屋久島

豊かで美しい自然を有し、世界自然遺産に登録されている屋久島は、面積の約90%が森林となっています。

この豊かな森林を維持するため、屋久島では適切な森林整備や建築用材としての利活用に取り組んでいます。

木材の利用を通じて販売利益が森林に還元されることにより、「植える→育てる→使う→植える」という林業のサイクルが維持されます。

CO2フリーと 森林のつながり

樹木は光合成により地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収・固定します。また、製品としての木材を住宅や家具等に利用することは、木材中の炭素を長期間にわたって貯蔵することにつながります。

CO2の固定～建築用材としての利活用～

屋久島町新庁舎（本庁舎）

令和元年度
木材利用優良施設コンクール
内閣総理大臣賞

「百年先まで愛される庁舎をめざして」2019年5月に完成した屋久島町の新庁舎。そのほとんどで屋久島産の木材が使われています。地形的な新庁舎を建築することにより、屋久島地形的な特長を活かし、林業の再生や販路の拡大につなげることを目的としています。

かごしま
CO2固定量認証書

屋久島町長 様

あなたが愛用された「屋久島町役場庁舎」における木材のCO2削減量について、かごしまCO2削減量等認証制度に基づき、次のとおり認証します。

222t-CO2

令和元年度
鹿児島県

役場庁舎の木材には、222t-CO2の二酸化炭素が固定されています。

庁舎内では、さまざまな形で屋久島産の木材が使用されています！



CO2の吸収～森林整備～

かごしまエコファンドの活用

～屋久島町町有林における世界自然遺産の森を守るCO2吸収プロジェクト～

CO2吸収

森林整備を支援し、森林のCO2吸収量を増やす

CO2削減

販売代金で省エネ機器へ交換してCO2を減らす



鹿児島県

このポスターの制作にあたり紙の調達及び印刷により排出されるCO2は、かごしまエコファンド制度を利用して、県内の森林吸収により相殺（カーボン・オフセット）しているため、実質的な排出量がゼロになっています。